



クラスだより



H30.9.3
うさぎ組
NO.4

残暑厳しい日が続きますが、保育園では子ども達が楽しみにしている運動会モードに入りました。毎日踊ったり、プログラムをしたり、かけっこをしたりとたくさん体を動かして楽しんでいます。

今年の夏は、異常なほどに台風も多く発生したり、気温の高い日が続いたり地球温暖化の危機を改めて感じた夏でした。地球も悲鳴を上げている事でしょう。

子ども達に豊かな自然、安全な地球を残していくためにも、『ECO』や『もったいない』について私達大人が今一度考えなければならぬ問題ではないでしょうか。

今、お部屋で楽しんでいる絵本の一つに、『もったいないばあさん』がありますのでご紹介します。

『もったいないばあさん 真珠まりこ作・絵』…このおばあさんは、もったいないことが大嫌いです。お皿の上の食べ残し、お茶碗についたご飯粒を見ると「一粒残さず食べるべし」、歯磨きの時のお水の出っぱなしには「コップ一杯で足りるだろ!」、暗くなったら「電気をつけるなんてもったいない。暗くなったら寝るだけさ」と一言一言当たり前だけれども、大切なことに気付かせてくれます。

子ども達にも、手洗いや歯磨きの時の水の出っぱなし、給食やおやつのお食べ残しの時に「もったいないよ」と声をかけるとどこからともなく、「もったいないばあさん来るよね」と言う子ども達の声が聞こえてきます。

～作者：真珠まりこさんの言葉～

食べ物を残したり、使い捨てが当たり前になってしまった現在、子どもも大人も、『もったいない』の意味が分からない生活をしていることに気が付きました。『もったいない』ということ伝えるには、イメージで理解できる絵本が必要だと思ったのです。

ところで、『もったいない』という言葉は、もともと仏教の言葉で『命の大切さ』を表しているんだそうです。命の大切さを第一に考えれば、世界で起きている問題は解決するはず。『もったいない』は、今の世界に必要なメッセージだと痛感しているので、これからも絵本を通じて、『もったいない』の大切さを分かりやすく伝えていきたいと思っています。

私達も絵本を通して、子ども達の心に【もったいない＝大切に作る心】が育ってくれることを願っています。

園にありますので、お読みになりたい方は声をかけて下さい。また、『もったいないばあさんシリーズ』は他にも色々あります。書店で見かけられた時には、是非手に取ってご覧になって下さい。



絵の具遊び



先日、みんなで絵の具遊びをしました。筆や絵の具を用意していると「何するの?」「絵の具?」「やったー!」と目を輝かせて待っていました。

お部屋いっぱいブルーシートと新聞紙を敷き詰め、「赤がいい」「青にする」と言いながら好きな色の絵の具を手手に大きな画用紙に描き始めました。最初はなんだか遠慮がちだった筆の動きも、「いっぱい描いていいよ」「おかわりもあるよ」と言うとたちまちダイナミックになりました(笑)

画用紙の上で力強く筆を走らせながらも、一筆一筆楽しそうに踊らせていました。中には縦に線をビューッと描き「きゅうり!」と。その長くて立派なそのきゅうりは、この夏、お部屋の前で成長を楽しみ、美味しく頂いたきゅうりそのものを描いているようでした。

何より、ボディペインティングをしている時が一番楽しそうで、最初は筆の先でチョンッと手や足に付け「先生、付いちゃった～」と。もちろんワザと付けたのは見ていたのですが、それも絵の具の楽しみ。「いいよいいよ、洗うから大丈夫」の声に、一斉に手や体は赤や青へと染まりました。

H君は足に付いた赤い絵の具を見て「先生、H君の足が割れとるけん血が出るとよ」と大げがをしたように赤く染まった自分の体をニコニコしながら楽しんでいました。

シャワーへ行く頃には全身絵の具まみれ。きっとお母さん達が見たら悲鳴を上げたくくなるような光景だと思います(笑)でも子ども達は「ああ～楽しかった」「またしようね」「今度は何色でする?」と大いに楽しんでくれました。全身で絵の具を楽しんでくれて良かったです。



見てみて～
お手てベタベタ～月

